

## 2022年度 第5回 ふれあい講座 実施報告書

実施日時	2023 年 2 月 17 日 (金) 19時～20時30分
場所	JICA沖縄 体育館
来場者数	78 人
JICA研修員 出身国： ブラジル	プチネリ・ファビオ・アウグスト(呼称：ファビオさん) タバレス モンテイロ ジョゼ マリオエディベルト (呼称：マリオさん) トヘス ジ モウラ マリア カロリーナ(呼称：カロールさん) ジ ブルム クロダ ヒロシ (呼称：クロダさん) フレイタス・テイシェイラ・モンテイロ・ロシメイレ (呼称：ロジメリさん)
研修コース名	ユネスコ無形文化遺産登録に向けた沖縄伝統空手の普及継承
当日の様子等 特記事項	<p>2022年度第5回ふれあい講座が、2月17日（金曜日）に開催されました。今回のテーマ国はブラジルで、沖縄伝統空手を指導されている5名のJICA研修員さんがブラジルの国の紹介してくれました。「日本とブラジルはどれくらい離れているか？」や「ブラジルの公用語は？」等クイズを交え、それぞれ住んでいる場所や料理など地図や写真を用いて説明、またブラジルの言葉を参加者と一緒に練習したり、ブラジルでも空手を頑張っている様子の写真も見せてもらいました。</p> <p>ふれあいタイムの時間では、多くの参加者がブラジルのことや現地での様子、ポルトガル語の簡単な挨拶など、各ブースで楽しく触れ合う様子を伺うことができました。</p> <p>パフォーマンスタイムでは、【沖縄空手道小林流 小林館協会】【ときわ中城道場】から5名の子供たちに型を2つ、古武道と棒術、護得久朝文さんから小林流空手の稽古を受けている神森小学校の6名の皆さんや護得久さんからも型を1つ披露してもらいました。そしてJICAの研修員さんからも各々異なる型を披露してもらい、迫力も増し参加者もその演舞に圧倒されました。板を割るパフォーマンスも披露され、参加者の高学年の男の子も初挑戦しみごとに板を割ることができ会場から拍手が湧いていました。空手演舞がすべて終わると会場の子供たちと研修員さんが一緒に輪になりサッカーのドリブルをしました。</p> <p>ふれあい講座の最後には研修員のロジメリさんがサンバダンスを披露、サンバで会場はさらに盛り上がり、参加者の皆さんも一緒にサンバを踊りました。</p> <p>今回参加者は78名で多くの人にご参加いただき、空手道場の皆さんも加わり、ぎやかに楽しくふれあい講座を開催することができました。参加者からも「クイズもあって楽しくブラジルを知る事ができた」「最後のダンスがすごい盛り上がりで良かった」「クイズ形式でブラジルの事を楽しく学びました」「フレンドリーでブラジルの方の国民性を感じた」「色々な国とふれあいたい。子供にこんな機会を持たせたい」とコメントをいただきました。今年度最後のふれあい講座にたくさんの人に参加していただき無事に終えることができたことを嬉しく思います。来年度もますます楽しいふれあい講座にしたいです。</p> <p>来年度も今年度に続き、偶数月第3週金曜日に計5回(6/16、8/18、10/20、12/15、2/16)のふれあい講座を実施予定です。</p>

会場の様子

研修員さんからのお国紹介



ふれあいタイム



空手の演舞



子供たちの真剣な演舞と  
迫力のあるの研修員さんの  
空手パフォーマンス



板割りパフォーマンス



サンバダンスの披露



サッカーパス回しを通じての交流



集合写真

